



発行：市川市中央図書館 編集：レファレンスカウンター 〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 TEL047-

	INF	REF	こども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
4月	806	544	483	105	0	1,938	470	63	135	107	58	606	3,377
累計	806	544	483	105	0	1,938	470	63	135	107	58	606	3,377

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

レファレンス記録票から

分類

質問と内容

I/S9 市川市を流れている江戸川の一部は、「旧江戸川」と呼ばれている。以前は「江戸川」と呼ばれていたのにどうして「旧江戸川」と呼ばれるようになったのか。

『図説 江戸・東京の川と水辺の辞典』（鈴木理生／編 柏書房 2003 p. 36）5 の旧江戸川の項では、「江戸川の下流部に当たる。（中略）この旧江戸川が本来の江戸川であったが、前述のように昭和三十九（一九六四年）の河川法改正で、江戸川水門の下流部が旧江戸川となった。」との記述されている。

デジタル庁の「電子政府」の総合窓口 e-Gov で河川法（昭和三十九年法律第百六十七号）を確認したところ、第4条5項で一級河川は「国土交通大臣は、第一項の規定により河川を指定するときは、国土交通省令で定めるところにより、水系ごとに、その名称及び区間を公示しなければならない。」とある。（<https://laws.e-gov.go.jp/law/339ac0000000167>）（2026. 6. 30 確認）

河川法に基づき公布された「河川法第四条第一項の水系及び一級河川を指定する政令」別表第四「利根川水系」（昭和40年3月24日官報号外（第16号））で【名称】旧江戸川【区間】江戸川からの分派点と記述されており、この国土交通省令で旧江戸川となったことが確認できる。（官報情報検索サービス（会員制有料サービス）<https://search.npb.go.jp/>）（2026. 6. 30 確認）

453.9 温泉権についての資料を探している。特に鷹の湯事件について知りたい。

『温泉の百科事典』（阿岸祐幸／編集委員代表 丸善出版 2012）p. 329-p. 332 で、「温泉権」について端的に説明している。『温泉の法社会学』（北条浩／著（御茶の水書房 2000）は、第一部「温泉と文化」、第二部「温泉と法律」、第三部「温泉の権利関係の歴史と実態」の三部で構成されており、詳細な記述がある。『注釈民法 7 物権』（中川善之助、川島武宜／編集 有斐閣 1975 p. 609-p. 644）でも民法の視点から「温泉権」について言及している。

鷹の湯事件については、『判例プラクティス民法1 総則・物権 第2版』（松本恒雄／ほか編 信山社出版 2022）p. 230「慣習法上の物権と温泉専用権」に事案、争点、判旨、解説が、『民法基本判例集 第4版』（遠藤浩／ほか編 勁草書房 2020 p. 84-p. 85「慣習上の物権（鷹の湯温泉事件）」で事実と判旨が記述されているほか、松尾弘／著「物件法定主義—鷹の湯事件」（『民法判例百選1 総則・物権 第9版』有斐閣 2023 所収）、石神兼文／著「温泉専用権と第三者対抗要件」（『民法判例百選1 総則・物権 第3版』有斐閣 1974 所収）、小林三衛／著「慣習法上の物権—温泉専用権」（『民法判例百選1 総則・物権 第3版』有斐閣 1989 所収）、多田利隆／著「慣習法上の物権—温泉専用権」（『民法判例百選1 総則・物権 第4版』有斐閣 1996 所収）などでも確認することができる。また、当館では所蔵がないが、Web サイト「日本大学法学部 学術刊行物」から清水恵介／著「自然湧出泉時代の浅間温泉における湯口権の諸相—鷹の湯事件前史としての2つの裁判例を手がかりとして—」（『日本法學 第88巻 第3号（2023年1月）』所収）を閲覧可能。（https://www.publication.law.nihon-u.ac.jp/pdf/law/law_88_3/each/18.pdf）（2026. 6. 30 確認）

なお、当館で契約している第一法規法総合データベース「D1-Low」では、フリーワー

他にもこんな質問ありました (クイック・レファレンスから)

分類	質問	⇒ 回答、補足事項、蒞蓄など
015.9	図書館のレファレンスサービスの流れや事例などが書かれた資料が知りたい⇒図書館学の書架から『情報サービス演習』(原田智子／編著 樹村房 2025)、情報検索・文献探索の書架から『調べる技術』(小林昌樹／著 皓星社 2022)などを紹介するとともに、当館の具体的なレファレンス事例として市川市立図書館公式Webサイト「調べもの相談(レファレンス)」(https://www.city.ichikawa.lg.jp/site/library/7613.html) (2026. 6. 30 確認)、全国のレファレンス事例として、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築しているレファレンス(調べものの相談)のデータベース「レファレンス協同データベース」(https://crd.ndl.go.jp/reference/) (2026. 6. 30 確認)を紹介。	
367.6	子どもの貧困の背景と現状、課題に対する国内の取り組みを調べたい⇒最新の情報としてこども家庭庁のWebサイト「こどもの貧困対策」(https://www.cfa.go.jp/policies/kodomohinkon/) (2026. 6. 30 確認)を紹介するとともに、所蔵資料として『こども白書』(こども家庭庁／編 サンワ 2025)や児童福祉の書架、『地域で支える子どもの貧困』(南野奈津子ほか／編集代表 ぎょうせい 2020)など当館で特設しているSDGsコーナーの「目標1 貧困をなくそう」で紹介している書籍を案内。	
383.9	日本で昔(江戸時代頃)から行われている機織り機の仕組みがわかる写真や絵がみたい⇒『目でみる江戸職人百姿』(国書刊行会 1985) p. 41に「博多織職」として機織りを行っている姿絵、『民具学事典』(日本民具学会／編 丸善出版 2020) p. 344に地機(じばた)と高機(たかばた)の構造図が掲載されている。また、児童書の『子どもに伝えたい和の技術 15』(和の技術を知る会／著 文溪堂 2023) p. 14に織機の写真、『日本の手仕事 4』(遠藤ケイ／絵と文 汐文社 2018) p. 4-p. 9にイラストによる機織りの様子や機織り機の写真が掲載されているほか、『調べてみよう!日本の伝統工芸のみりよく 1』(伝統的工芸品産業振興協会／監修 ポプラ社 2020) p. 9にも織機のしくみとして高機の絵が掲載されている。	
479.7	ソメイヨシノの誕生によって近代以降の日本人にとって「桜」がどのような存在になったのか。ソメイヨシノの普及や花見の変化が知りたい⇒ソメイヨシノの普及や影響が描かれた資料として『サクラの文化誌』(岩崎文雄／著 北隆館 2018)、『桜が創った「日本」』(佐藤俊樹／著(岩波書店 2005)、『桜 2』(有岡利幸／著 法政大学出版局 2007)などを紹介。また、花見や文化について言及した資料として『花見と桜』(白幡洋三郎／著 八坂書房 2015)、『桜誌』(小川和佑／著 原書房 1998)、『桜の科学』(勝木俊雄／著 SB クリエイティブ 2018)なども紹介。	
K404	小学生が鏡について調べるための本を探している⇒『カガミの実験』(立花愛子／著、田島董美／絵 さ・え・ら書房 1999)、『くらしのふしぎ』(古田豊／監修 PHP 研究所 2010)などを紹介するとともに科学や実験の棚を案内。	
K467	生命について壮大な視点で 5 歳児に説明するための本を探している⇒『せいめいのれきし』(バージニア・リー・バートン／文・絵、いしいももこ／訳、まなべまこと／監修 岩波書店 2015)、『いのちのつながり』(中村運／文、佐藤直行／絵 福音館書店 1991)を紹介。	
E	入学をテーマにした絵本はあるか⇒『えらいこっちゃんのいちねんせい』(かさいまり／文、ゆーちみえこ／絵 アリス館 2019)、『ランドセルがやってきた』(中川ひろたか／文、村上康成／絵 徳間書店 2009)、『いちねんせいのがっこうたんけん』(おかしゅうぞう／さく ふじたひおこ／え 佼成出版社 2008)、『くんちゃんのはじめてのがっこう』(ドロシー・マリノ／作、まさきりこ／訳 ペンギン社 1982)などを紹介。	